



学校だより

1月号

希望【きぼう】 幸福【しあわせ】 優愛【やさしさ】
岸谷小ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kishiya>

令和7年1月7日
横浜市立岸谷小学校
校長 本庄 則子

あけまして おめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

校長 本庄 則子



今年は、例年より長い冬休みになりました。横浜は天気にも恵まれ、穏やかなお正月を迎えられたことと存じます。今年は巳年（みどし）。巳年という、復活や再生、成長や繁栄、財運と知恵という意味があるようです。ヘビが脱皮を繰り返して成長すること、巳の漢字が体を丸めた胎児の形から由来があること、お金が「み」につくことなどからだそうですが、縁起の良い年になりそうで嬉しいです。

お正月は日本の文化や習慣を再認識する機会でもあります。年末の朝会では、「お正月といえば」という問いかけをしました。欠席者が多く、TV通しての放送朝会を行ったため、子どもたちの反応はよくわかりません。それでも「年賀状」「門松」「鏡餅」・・・と挙げていき、「お年玉」というと放送室にいた子どもたちが「あー」と笑顔でうなずいていました。いつの時代でも、お年玉は子どもたちにとって一番のようです。

朝会の話の最後には、年末の挨拶について話しました。英語では「Merry Christmas and a happy new year!」日本語では「よいお年を」。12月24日の帰りには、どの子どもも「よいお年を」と挨拶をしながら学校を後にしてくれました。もちろん、Merry Christmas～ とにこやかに挨拶してくれた子どももいました。変わらないお正月の風景もありますが、変化していくものもあります。例えば年賀状。ここ数年は、SNSで新年の挨拶を送る場合も多いようで、年賀状の発行枚数も減少していると聞きます。どの方法をとるにしても、新しい年を迎えるときの賀詞を伝える気持ちは、変わらずに大切にしていきたいものです。今年も子どもたちには、様々な体験を通して、伝統や新しいことにかかわらず、どんどん吸収して学んでいってほしいな、と願っています。

今年も地域・保護者の皆様と連携しながら、学校という集団の中で子どもたちが安心して健康に過ごせるように教育活動を展開してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3年 生中ブロック音楽会



12月11日（水）、岸谷小・生麦小・寺尾小の3年生が参加して、音楽会が行われました。本校での開催なので、会場となる体育館の飾り付けや保護者席の椅子並べ、各校の誘導などは、6年生が活躍してくれました。岸谷小の3年生の曲目は「パフ」と「太陽のサンバ」の2曲で、緊張しながらも、練習の成果を十分に発揮できました。音楽の楽しさを全身で表現する姿が素敵でした。

全校 土曜参観



土曜参観が行われました。多くの保護者・地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。多くの皆様に見ていただき、子どもたちはいつも以上にがんばって学習に取り組んでいたように感じます。中には、今回の参観での保護者の皆様への発表に向けて、準備・練習を重ねてきた学年もあります。ぜひ、各ご家庭でも頑張りをお褒めいただければと思います。